

# 令和5年3月 生育・病害虫情報（野菜）

令和5年3月24日

JAあきがわ営農支援センター

この情報は JA あきがわ管内の複数の特定圃場を巡回して、生育や病害虫発生状況を調査したものです。

のらぼう	気温が高めに経過したため、生育が進み収穫時期が平年にくらべ早まっています。収穫遅れに注意してください。今後、収穫終了時期が早まることが予想されます。
タマネギ	生育は概ね順調です。球の肥大が早まると思われます。気温が高めに推移しているため、今後曇雨天が続くと、べと病の発生が多くなる可能性があります。
その他	ニンニクの生育は概ね順調です。ネギではいくつかの圃場でネギアザミウマの寄生がみられました。また、野菜全般ではアブラムシ類の発生に注意してください。

## 関東甲信地方 1 か月予報(3/25~4/24)：気象庁 3/23 発表

「平均気温は高い確率が 80%です。期間の前半は気温がかなり高くなる見込み。降水量は平年並みまたは多い確率ともに 40%」⇒今後、気温が高く経過する予想です。トマトなどの施設栽培やスイートコーンなどのトンネル栽培では高温障害に注意してください

### タマネギべと病

● 3月中旬~4月上旬が二次感染の始まりです。二次感染ははじめ葉身に楕円形から長卵形の病斑ができます（右写真）。予防のために薬剤散布を行いましょう。ダコニール 1000、ランマンフロアブルなど

